



平成27年度公開講座の実施について

研修部



1. はじめに

情報通信エンジニアリング協会では、一般の方を対象にネットワークを構成する設備の紹介や実習体験を通じて、情報通信エンジニアリング事業についてのご理解をより深めていただくことを目的に、無料での公開講座を開催しています。

平成27年度も、総務省主管の情報通信月間にあわせて実施しました。以下、その概要をご紹介します。

2. 東日本研修センターでの開催

(1) 講座名

「ブロードバンドサービスを支える技術と設備」～情報通信設備の紹介と光ファイバ接続の体験～

(2) 実施日

平成27年5月16日（土）

13：00～16：00

(3) 参加者数

11名

(4) 内容

①光ケーブル融着接続

日頃目にする事ができない光ファイバ心線やクロジャラーの内部等設備の内側等について紹介しました。

光ファイバの接続体験では放送と通信の融合であるフレッツテレビを視聴中の光回線を切断・再接続し、正常にフレッツテレビを視聴できる事を体験していただきました。

②安全実習設備、装置等の紹介及び体験

昨年に引き続き人身事故撲滅及び設備事故撲滅に向けた安全実習設備等の見学と体験を通じて、情報通信

エンジニアリング協会での「安全向上への取り組み」について紹介しました（写真1・2）。

主な体験項目は次の通りです。

- ・光ケーブル融着接続体験
- ・マンホール内に入溝前の酸素欠乏測定及び入溝体験

- ・高所作業車の搭乗体験
- ・ダミー人形を用いた高所からの転落衝撃の見学体験
- ・短絡体験装置を用いた電源線接続作業による設備への影響体験



写真1 光ファイバの接続体験



写真2 安全向上への取り組み

3. 西日本研修センターでの開催

(1) 講座名

「電気通信設備の高度化と災害に強い設備づくり、都市環境のバリアフリー化」

(2) 実施日

平成27年6月12日（金）

13：30～16：30

(3) 参加者数

8名

(4) 内容（写真3）

①災害とICT

- ・東日本震災の教訓とICT
- ・大規模災害等緊急事態における通信の確保 等

②災害に強い通信設備構築及び都市環境整備の紹介

- ・阪神淡路・東日本大震災から学んだ災害の特徴
- ・東日本大震災を踏まえた今後の災害対策の取組み 等

③無電柱化推進に向けた新たな取組み

- ・低コスト手法の取組み 等

④設備等見学

- ・ホームICT環境の見学
- ・電線共同溝モデル設備の見学

4. 参加者の主な感想

参加者の皆様から以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

＜東日本研修センターでの講座＞

- ・光接続は、細かい作業なので時間を要すると思っていたが意外と短時間で実施できフレッツテレビが回復するところを見る事ができた。

- ・ブロードバンドサービスを提供する設備・安全実習設備等の紹介及び高所作業車の搭乗体験等、全てが新鮮かつ初体験で感動した。

- ・道路に設置されているマンホールは、普段なにげなく見る事があるが、研修用マンホール内に入り、想定よりも広いと感じた。

- ・マンホール内入溝・高所作業車への搭乗等から安全向上に対する情報通信エンジニアリング協会の取組みを理解する事ができた。

＜西日本研修センターでの講座＞

- ・日々進化する通信事業の知識を拡大することができ、業務への活用もできそう。

- ・無電柱化推進計画への取組みの話が有益であった。

5. おわりに

多くの方に情報通信サービスを支える技術に興味を持っていただく事ができました。参加者のみなさんに喜んでいただけるよう、引き続き、公開講座を実施していく予定です。



写真3 西日本研修センターでの公開講座